

移動図書館がやってきた!



皆さん、ピンク色の車が走っているのを見たことはありますか? 「めばえ号」という、京丹波町の移動図書館車です。こども園や小学校、介護施設などに定期的に出向いて、本の貸し出し読み聞かせや、紙芝居などもしています。

クローバーデイセンターにも4月から月1回来てくれることになりました。



↑ジャンルは様々、約500冊の本が並びます。



紙芝居も毎回の楽しみ



めばえ号がきたときは、まず紙芝居から始まります。昔ながらの紙芝居を聞き、幼き頃を思い出しながら、皆さん楽しまれています。

その後、デイの前に着けられた移動図書館車に赴き、それぞれが思い思いに雑誌や、小説、単行本、レシピ本など手に取り、今月もたくさんのお本を借りられました。

NPO 法人クローバー・サービス

京都府船井郡京丹波町橋爪楡山 53

■TEL (0771)88-5014 / ■FAX (0771)88-5017

■e-mail: info@cloverservice.or.jp

■ホームページ http://www.cloverservice.or.jp

クローバー・デイサービスセンター

京都府船井郡京丹波町橋爪楡山 41-1

■TEL & FAX (0771)88-0138

■e-mail: day@cloverservice.or.jp



facebook QR



有田誠(ありたまこと) 京丹波町在住の映画愛好家。
写真は、台湾花蓮に残る防空壕 (筆者撮影)

花蓮^{フアレン}で朝、散歩していると、清潔な平屋の日本家屋を見つけた。玄関が開いていた。奥のテレビにNHKの番組が映っている。家の写真を撮らせてもらおうと声をかけた。ご主人が畳の間にあげてくれ、お茶が出た。七十年代まで日本でも、田舎の国鉄駅のそばに職員官舎があった。造りはほぼ同じである。

米軍の爆撃が激しく、夜は無灯火で走った。台湾各地でも、米軍の大規模な空襲があった。当時は日本領土だから当たり前だが、日本人には伝わっていない。台湾を親日だと言う人が多い。はしたないことである。相手が言ってくれたら、ありがたいことだ。でも、支配していた側が言うことではないだろう。



蓮舫の父方の祖母・陳杏村

彼は日本

支配の時代から機関士としてはたらいっていたとのこと。毎年当時の仲間が集まる。その年の会は熊本であった。戦争中は

蓮舫(れんほう)

陳杏村は蓮舫の祖母である。祖父の謝達林^{シェンダリン}は、台南で医者をしていた。陳は三人の子供を産んだ後、日本でファッションを学んだ。一九三四年、謝は伝染病で急死する。陳は独身を通し、蓮舫の父謝哲信^{シェンゼン}(次男)らを育てた。

一九一〇年に台北で生まれた陳は、戦前は台湾で五人の職人を使う服飾店を経営した。一九三八年には、ブラジルコーヒの宣伝販売を台北で始めてもいる。そのうち、上海でタバコの販売会社を経営する。

一九三九年、日本の特務

機関と華南煙草運銷公司を設立。以後、日本政府や軍部とつながる。敗戦後、国民党の軍事統計局に逮捕された。売国奴(漢奸)として裁判を受けるが、一九四七年、無罪となり、台湾に戻る。

戦後はバナナ貿易を手がけ、一九七七年、死去。日台間のバナナ貿易は一九五〇年に始まった。輸入量は最大でも年間四万トン程度。六十年代までバナナは日本では高級品だった。年間輸入枠が政府立会いで決められ、その調整のためバナナ輸入協会が設立された。

初代会長に滿蒙地区方面軍司令官だった元陸軍中將根本博が就任した。根本は一九四九年、国民党軍が金門島で共産党軍を喰い止めた作戦の指南役を務めていた。彼は蒋介石との太いパイ役となった。この協会の副会長がスパーのライフを経営するライフコーポレーション創始者、清水信次である。陳杏村は台日貿易会社を設立し、バナナの輸出を始める。一九六〇年、対日バナナ貿易を独占する青果公会の理事長に就任。当時、台湾の年間外貨獲得の三分の一を占めるのがバナナだった。その理事長権限の強大さは、国家も無視できないものであった。

一九六三年、バナナの輸入自由化で市場は混乱、日本バナナ輸入組合が結成された。初代理事長は砂田産業の砂田勝次郎。その父・重政も兄・重民も自民党の重鎮だった。兄は農林族河野

一郎の秘書を務め、のちに文部大臣になっている。この砂田家と陳杏村が手を組んだ。ライフの清水をして大臣クラスの女傑と言わしめたのが陳杏村だった。

国際貿易は、蒋介石の妻宋美齡が実権を握っていた。蒋介石の後継者蔣経國は前妻の子であり、宋美齡のバナナ利権を奪おうとする国民党内の政治抗争となった。蓮舫の父謝哲信が同志社在学中、清水の前に現れ、バナナを売り込んだ。資生堂に勤めていた斉藤桂子と結婚し、生まれたのが蓮舫である。

ジュディ・オング

翁倩玉、翁は台湾語ではオング、ジュディは小学校四年から通ったアメリカンスクールでの名前。日・中・



母・劉雲娥、父・翁炳榮とともに

台・英語とスペイン語を話す。父は中・台・英語、母は中・台・日語が話せる。

父翁炳榮は、日中戦争のとき四川省の大学に在学、英語放送を聞いて壁新聞を作っていた。国民党が台湾を接收後、国営ラジオ局中国廣播公司に入る。一九五一年、日本に派遣された。

GHQ心理作戦部で共産圏に対する中国語プロパガンダ放送を担当した。台湾に戻り、放送作家や作詞家として活躍する。ジュディの

中国語曲の多くは彼が作詞している。「竹田の子守唄」の中国語版「祈禱」は、台湾のスタンダードナンバー。

祖父翁俊明は一八九三年台南生まれ。台湾総督府医学学校(謝達林と同じ)在学中、神戸に孫文に会いに行き。中国同盟会台湾支部を設立、清朝打倒の運動に没頭した。

辛亥革命後、孫文と対立した袁世凱暗殺のため、北京に潜入する。自ら培養したコレラ菌を飲料水に入れようとしたが、警備厳重で未遂に終わる。上海から逃走しようとして逮捕されたが、救出された。

国民党幹部として活動したが、一九四三年に毒殺された。一緒に実行犯となった杜聰明も薬物学の専門家。その息子杜祖健(アンソ

ニー・トゥ)はコロラド州立大学の薬物学の権威である。オウム真理教のサリンをかみくいしきむら上九一色村の土壌から検出する方法を警視庁に指南した。これで警視庁は強制捜査に踏み切った。

ジュディは山田五十鈴に着物の着付けを、沢村貞子に日本語の使い方を、勝新・富三郎兄弟に演技を教えられた。大映の三隈研次監督をして「いま時代劇の女の立ち回りはジュディが日本一だ」と言わしめた。

アニメの『サイボーグ009』では、フランス人003のフランソワーズ・アルヌールの声を担当した。

一九七九年、「魅

せられて」が二百万枚の大ヒットとなる。八代亜紀の「舟歌」を押さえてレコード大賞を受賞した。

ジュディは東日本大震災の台湾からの膨大な寄付の牽引車にもなった。

なお、兄の翁祖模は、台湾新幹線の複数の駅を設計した建築家である。 敬称略

【参考図書】

『タイワニーズ』野嶋剛(小学館)



東日本大震災 岩手県釜石港 (2011年 筆者撮影)

コーラスの歌声に癒されて… (社協デイとコンサートで交流)



↑コーラスの歌声を聴く利用者さんたち
(デイサービスセンターほほえみにて)

6月4日(火)デイサービスセンターほほえみから招待を受け、コーラスグループ「カナリア」のコンサートに行ってきました。

「かえるの合唱」「富士山」「上を向いて歩こう」を一緒に歌ったり、ハンドベルを使って利用者、職員一緒に演奏したりしました。楽しい午後のひと時となりました。

職員紹介



ひらお まこと
平尾 誠

6月から外出支援の運転手(アルバイト職員)として働いています。長らく路線バスや、長距離バスの運転をやってきました。現在も週末は京丹波町町営バスの運転手をしています。見かけた際は気軽に話しかけてください。

〈賛助会員〉

新しくお世話になります

ノエピア京都西都販売会社

〒622-0214

京丹波町蒲生伏拝 3-4

0771-82-1418 FAX82-2074

引き続きお世話になります

(有)あさひ堂
(株)一谷住宅
イン・ザ・ルーム亀岡店
上段税理士事務所
(株)高木設備
たにやま鍼灸整骨院
田端輪業
(有)土佐寿司
(有)永田損害保険事務所
(有)西村テレビ
三木歯科医院
みづほ電工
理容ちどり

(五十音順)

編集後記

「ケントババ」「まんじゅう」と聞いて、それぞれ何のことかわかる方はいらっしゃるでしょうか？ 私と同じ年代を過ごして、同じ地域で育った方なら、すぐにわかるかも知れませんが、▼「ケントババ」は、関西から西日本に生息する淡水魚「オヤニラミ」のことです。なぜこの地域で「ケントババ」と呼ばれているのかは不明。確か祖父から教わった気がします。これらの部分に大きな目のような模様があるのが特徴。日本固有の在来種で京都府の絶滅危惧種にも指定されています。子供のころよく川で見かけましたが、動きが俊敏で触ることすらなかなかできず、運よく捕まえた時はヒーローのようになれました。▼「まんじゅう」はクワガタの雌のことです。クワガタの種類に限らず、雌は全部「まんじゅう」と呼んでいました。立派なハサミを持つ雄に比べ、小さいので見かけても「まんじゅうくいかあ」と残念がっていたのですが、今はカブトムシやクワガタも見かけることが少なくなり、子供たちにとっては「まんじゅうくい」であつても見つけたら嬉しいようです。昆虫採集、夏の始まりですね。 <編集子>